

若浜の子ども



令和元年12月23日 第7号

2学期をふりかえって



明日で86日間の2学期が終了します。2学期は、学校行事を通じての子どもたちの成長が大きかったと感じています。

まず、6年生を中心に晴天のもと盛り上がった秋季大運動会。応援団を中心に各組とも、総合優勝、応援賞、看板賞をめざして熱く夢中になって取り組みました。また、昨年度よりも1週間遅らせての実施だったため、ス

ポ少の試合と重なり途中までの参加となった児童もいましたが、暑さのピークを避けることになったことは良かったと思います。

次に学習発表会です。教科学習や総合的な学習の学びの成果を、見ていただく方の立場に立って表現するという事は、自分が学ぶことの何倍もの苦労や努力を要することです。物怖じせず、多くの観客の皆様の前で堂々と発表した子どもたちの姿から、教室では見られない力強い表現力を感じました。また、この発表会は、子どもたちのがんばりとともに、担任団のアイデアやねばり強い指導があったことと、身内ではありますが感謝しているところです。

一方、今後の課題として考えていかなければならない点として、いじめや生活指導の問題があります。いじめアンケートについては各担任が、全てのケースについて子どもから聞き取り、ご家庭に個別に連絡を取っております。また、いじめアンケート、学校評価ともに全ての回答を、管理職が読み、自分たちが見えていない点を確認し、改善に取り組むようにしております。

この課題については、改善のために、家庭からの情報提供やご協力を要することも少なくありません。お気づきのことがありましたら、時間を置かずその都度お知らせいただければ幸いです。学校と家庭が連携してすすめる「共育」で、我が子も、よその子も、そして若浜小全体が良くなるよう、よろしく願いいたします。



平和について考える



11月28日に東大町1丁目にお住まいの沼澤節子さんをお招きし、6年生対象の「戦争体験を聞く会」を開催しました。

沼澤さんは太平洋戦争終戦時(1945年)、小学生で樺太(今のサハリン)にお住まいでした。

お父さんが戦地に送られたこと、2週間も歩いて避難したこと、四方からの爆撃機による攻撃、目の前で血を流して死んだ人、日本が負けたことを認めず自害した親子など衝撃的な戦争体験を

語っていただきました。一方で、ロシア兵の方と生活を共にし、親切にしてもらったことや教育を受けたことから、敵兵ではなく友だちだと感じたことなどもお話しいただきました。沼澤さんの「戦争をしてしまえば、希望も、明るい未来もありません。」という言葉が子どもたちの心に深く刻まれました。

<6年 矢口樹里さんの感想>

戦争はにくしみと悲しみしか生まないこと、若い自分たちが「戦争」の2文字を消し「平和」の2文字を社会に増やさなければいけないことを学びました。私達一人一人がその気持ちを広げていくことが大切だとわかりました。

「発明・技術と平和」12月のいのちの日校長講話から

今年のノーベル賞を日本人で受章したのは、私たちの生活に幅広く関わっているリチウム・イオン電池を発明した吉野彰さんでした。もし、このリチウム・イオン電池がなかったら、スマホもノート型PCも携帯ゲーム機もハイブリッドカーも電気自動車もありません。

このノーベル賞は、ダイナマイトを発明したことからお金持ちになったノーベルさんが、そのお金で人類の発展に貢献した方に賞を与えようということから始まりました。ノーベルさんが発明したダイナマイトによって、鉱山やトンネルなどの建設がそれまでよりも楽に、そしてどんどん進むようになりました。

ノーベル賞をいただいていない中でも人類の生活に革命をもたらした発明はいろいろありますが、飛行機の発明もそんな一つです。ライト兄弟が有人飛行の成功をさせたのは1903年の12月17日です。

ところで、この間の日曜日、12月8日は、太平洋戦争が始まった日でした。1941年12月8日、日本軍がアメリカのハワイにある真珠湾を攻撃したのです。この太平洋戦争では、多くの人が亡くなり、多くの家族が悲しまました。この戦争で使われたのは、今話したダイナマイトや飛行機です。そんな戦争で、お父さん、お母さん、そして二人の兄弟が亡くなった「火垂るの墓」というアニメの一部を見て下さい。(防空壕で、妹の節子が衰弱し意識もうろうとなり、おはじきをドロップと間違え、石ころをお団子とって兄清太に渡し、意識を失い帰らぬ人となる場面を視聴)

ダイナマイトも飛行機も、人の生活を便利にするために役立つ物です。しかし、使う目的を誤れば、人を不幸にする物になります。どんな物でも使う人の考えや心次第です。私たちの言葉や手だって、使い方では人を苦しめるときがあります。人を幸せにする気持ちを大切にしたいですね。

ホームページ閲覧回数 3200 回突破

ありがとうございます

9月10日に開設した若浜小学校のホームページの閲覧回数が3200回を越えました。学級便りや学校便りでは伝えきれない、子どもの姿を伝えるための動画ギャラリーを設けたことが閲覧回数につながっているのではないかと考えています。また、更新してない時期にもアクセスの増加が見られることから、リンクサイトを見ている方も多いのではないかと思います。

さて、年末になると何かと「ベスト〇〇」があるのにちなんで、動画再生回数を調べたところ以下のとおりでした。

<動画再生回数ベスト5> (12・23現在)

- 1 「秋季大運動会スライドショー」123回
- 2 「それってJRCだね。やさしい若っ子」122回
- 3 「力の限り三連発」112回
- 4 「応援合戦練習」97回
- 5 「全校合唱チャレンジ」91回



行事動画の再生回数が多い中、「それってJRCだね。やさしい若っ子」の再生回数が120回を記録しているのが目立ちます。その理由として、若浜小学校の特色であるJRCに関心をもっていただいたこととともに、保護者の皆様の、優しい子に育ててほしい、こんな優しい子がいっぱいいる若浜小学校であってほしいという願いがあったからではないかと考えています。

これからも、若っ子のいいところを紹介するホームページにしていきたいと思います。

サンキュー一年賀について

子どもたちに年賀状を配りました。これは、子ども達に年賀状の楽しさを体験してもらうために、郵便局が年賀状の協賛事業所（スポンサー）を募ったところ、下記の協賛事業所さんが寄付（年賀状の代金を負担）してくださったものです。

「お住まいが若浜小学区でもないのに、ありがとうございます。」と御礼の電話をしたところ、富樫農園さんからは「子どもは社会の宝ですから。」との言葉をいただきました。

メール、SNSの時代だからこそ、年賀状を受け取った方は喜んで下さるのではないのでしょうか。協賛して下さった方の気持ちに伝える一枚にしたいですね。

【協賛事業所】

○土門源四郎農園 様 酒田市刈屋で梨と米を生産していらっしゃいます。

<http://domongenshiro.jugem.jp>

○富樫農園 様 鶴岡市でだだちゃ豆とお米を生産していらっしゃいます。

<https://twitter.com/togashinouen>

若っ子の活躍

第31回全国児童水辺の風景画コンテスト

佳作 3年 小松 昌継

第29回MOA美術館山形県児童作品展(絵画の部)

酒田市長賞 3年 小松 昌継

遊佐町教育委員会賞 3年 渡部 寧祢



酒田地区青少年読書感想画コンクール

入選	5年 阿部ゆうな	那須 ひなた	佐藤 綾乃	長澤 桃花
	3年 板橋 大河	菅原 侑莉	小松 昌継	渡部 寧祢
	1年 渡部 陽翔	伊藤 希		

令和元年度夏の省エネ「川柳・標語」コンテスト

省エネ特別賞 4年 木島 凜月

第51回公募春秋書道全国展

3年生半紙の部 金賞 3年 芝田 朱里

第3回ニカホWin-s CUP

U-11の部 優秀選手賞 5年 奥山 諒大

第44回酒田地区少年少女バレーボール交歓大会(前田杯)

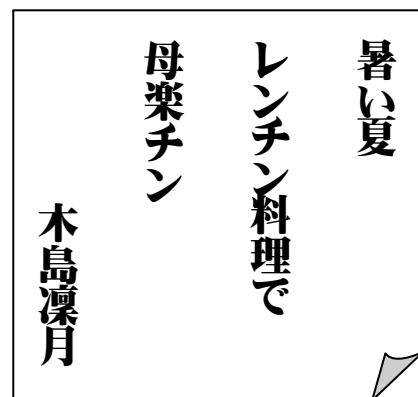
女子の部 優勝 若浜バレーボールスポーツ少年団A

第44回酒田地区少年少女バレーボール交歓大会(前田杯)

混合の部 優勝 若浜バレーボールスポーツ少年団B

第34回山形県小学生バレーボール 新人交流大会山形県大会

女子の部 3位 若浜バレーボールスポーツ少年団



よいお年をお迎えください

新年(令和2年)は、干支のはじめの子年、東京オリンピック開催、新学習指導要領の実施など節目となる年です。お子様、ご家庭の皆様、地域の皆様にたくさんの良いことがありますようにご祈念いたします。

<学校に日直がいる期間>

12月25日(水)~27日(金)

1月 6日(月)~ 7日(火)

